

小学校第 6 学年 総合的な学習の時間 学習指導案

期 日 平成 22 年 10 月 19 日（火）第 5 校時
場 所 水俣市立袋小学校 多目的ホール
指導者 教諭 丸尾 浩輝

1 単元名

「水俣の海のよさを発信しよう」

2 単元について

(1) 地域・学校の実態

本校は水俣市の最南端にあり、鹿児島県との県境に位置している。校区内には袋湾や茂道湾、湯堂湾があり、以前は豊かな海の幸を生業とする漁業が盛んであった。しかし、昭和 31 年の水俣病公式確認以来被害者が増え、水俣湾一帯の漁獲・食用自粛から操業厳禁へと規制が強まり漁業ができなくなった。また、水俣病被害者や家族に対する差別や偏見は、それまでの温かい人間関係をも崩し、50 年以上経過した現在もそのしこりは消えていない。

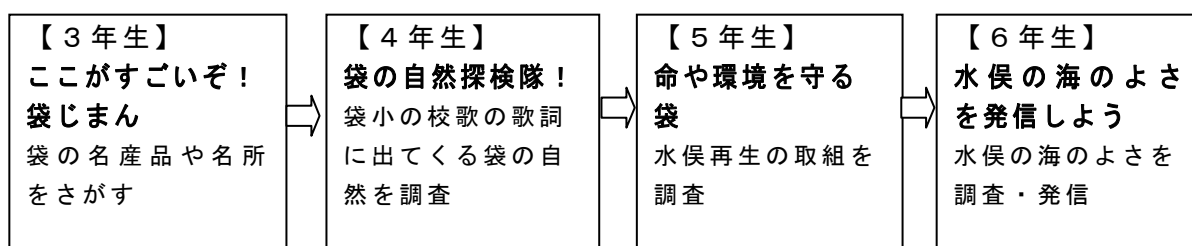
平成 9 年 8 月政府解決策に基づき水俣病未認定患者の救済が確定したり、同年 10 月に仕切り網の撤去作業が終了し、水俣産魚介類の安全性も確認されたりしたことから、漁業再生・振興の機運が高まってきた。

このような状況の中、水俣市は環境都市としての再生を目指し、ゴミの 22 分別やマイバッグ運動など市民を挙げて様々な取組を行っている。本校でも、崩れた人間関係を再構築するための、いわゆる「もやい直し」事業の一つとして始まった「2001 水俣ハイヤ節」の踊りや学校版環境 ISO への取組を行っている。

(2) 単元設定の価値

本単元では、児童にとって身近な「海」をテーマに学習を進めていく。海で起こった「水俣病」という悲しい事件を乗り越え、環境都市として再生しつつある水俣市の中で、「地域住民の一人として、自分たちにできることはないか」という視点から本単元を設定し学習を進めていくことは、これからの自分の生き方について見つめ直すよい機会になると考える。また、課題解決へ向けて必要な情報を収集し、整理・発信していく活動を進めていくことで、自ら学び考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を高めていくことができると考える。さらに、学習の成果を地域に向かって発信していくことで、自分たちの学習が地域に還元され、地域の一員としての自覚を高めていくことができると考える。

(3) 総合的な学習の時間の系統は次のとおりである。



(4) 児童の実態

本学級は男子 9 人、女子 21 人の計 30 人（この内女子 1 人は特別支援学級在籍）である。明るく素直で男女仲もよく、周囲に対する優しい声かけや気遣いができる児童が多い。

また、全体的に好奇心や探究心が旺盛で、疑問に思ったことやわからないことなど

があると、図書資料やインターネットを活用したり、関係機関にファックスを送ったりして進んで調べることができる。

協同活動については、他教科の学習においてもグループ学習の中で意見交換をしながら問題を解決するという活動を積極的に取り入れており、抵抗なく取り組めると考える。

言語活動については、自分の思ったことや感じたことなどを人前で表現することに対して苦手意識を持つ児童が多く、全国学力調査の結果からも、定着率が平均よりも低く、今後、言語活動の充実が必要であると考ええる。

また、本単元の事前調査結果からは、総合的な学習の時間を好意的に感じている児童がほとんどであり、興味・関心を持って学習に取り組んでいる様子が伺える。自分の住んでいる地域や水俣の海についても全員が肯定的に捉えており、海を身近に感じていることが伺える。

以上のようなことから、地域素材である海をテーマに学習を進めていくことで、児童のより主体的な学びが展開されていくことが期待できる。

(5)指導にあたっては次の点に留意する。

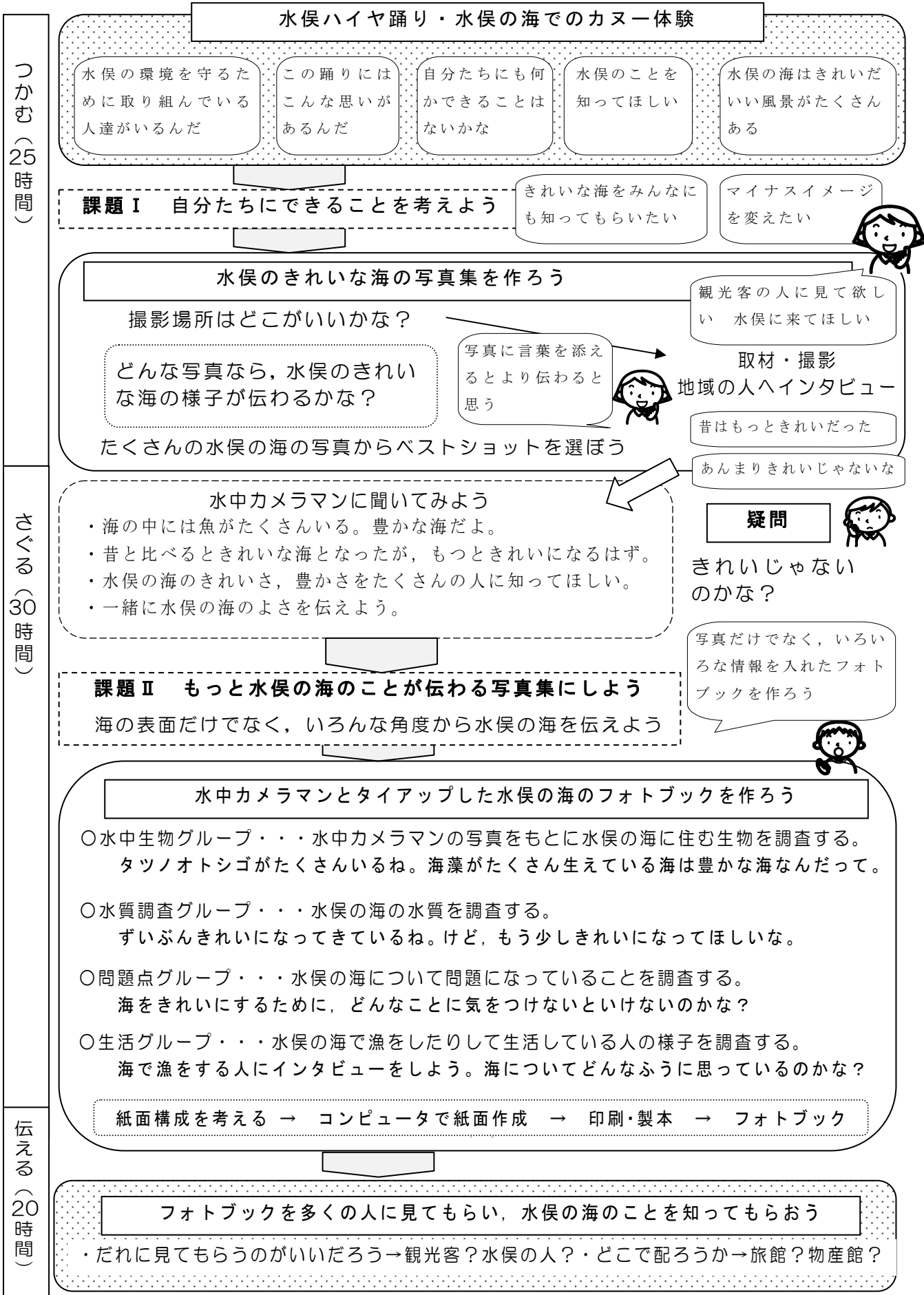
- 追求の流れを図式化して提示することで、児童が見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。
- 情報をまとめる活動では、誰に向けて、何のために伝えるのかといった相手意識や目的意識を持って、まとめることができるよう児童に意識させる。
- 児童の主体的な学習を行うことができるように、デジタルカメラや大型ディスプレイ等の ICT を効果的に活用できるようにする。
- 他者と協同して取り組む学習活動を設定することで、多様な視点から考え協同的に学ぶことができるようにする。
- グループや地域の人と協同活動を設定することで、児童に力をあわせて取り組むことの大切さや地域社会にかかわる喜びを実感させるようにする。
- 毎時間、活動のめあてを設定し、活動後にふり返しを行うことで、児童が課題を明確に持ち、主体的に学習に取り組むことができるようにする。

思考力、判断力、表現力等と言語活動
総合的な学習の時間では、「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力」の育成が重視される。 新学習指導要領では、そうした力を育成するために、探究的な学習を通して、見通しや計画を立て、多様な情報を収集し、整理・分析を通して考え、まとめる等の学び方や考え方を育てていくことの必要性が示されている。 こうしたことから、総合的な学習の時間における思考力、判断力、表現力等を、課題を追究する力としての、情報を収集する力、情報を整理・分析する力、情報をまとめ・表現する力と捉え、本単元での言語活動として、「他者とのかかわりを通して、課題解決のために必要な情報の収集・分析に修正や補強を加え、自分の考えを深める」活動を行う。 こうした言語活動を段階的に繰り返し行い、課題解決に近づくような探究的な学習過程を経ることで、児童の思考力、判断力、表現力等を高めることができる。と考える。

3 単元目標

- (1)体験を基に、課題を見つけ、解決に向けた計画を立てる。【**見つける力**】
- (2)情報を収集、整理・分析し、まとめ、表現する。【**追究する力**】
- (3)グループや地域の人との関わりを通して、多様な視点から、水俣の海に対する考えを深める。【**かかわる力**】
- (4)活動をふり返し、次の活動に生かす。【**生かす力**】

4 単元全体の構想（75 時間）



5 指導・ 価の計画（「さ る」過程における計画） 30 時間取 い

次	時	学習活動	指導上の留意点 ※言語活動とその留意点	価 目（方 ）		
1	1	○水中カメラマンに を く。 ○新たな課題について し合う。	・ 事前にグループ とに，水中カメラマンに きたい疑問を整理させておく。 ※ブレインストーミングの手法を用いて，児童の課題をまとめることで，課題別グループを編成する。	見つける力 課題を見 ける， 課題に気 く (業観 ・学習 ート)		
	2					
	3					
	4					
2	5	○課題別グループに分かれて情報収集する。 ・ 計画を立てる ・ 情報を収集する ・ 水中カメラマンに を く	・ 「 イバーとタイ ップしたフォトブックを作ろう」という明確な目標を設定して取り組ませる。 ・ 主体的な活動になるように，グループ とに，活動計画を立てさせる。 ・ 水中カメラマンとの を図る。 ※グループごとに情報収集のための計画書を作成させ，活動への見通しをもたせる。	見つける力 課題を追究する計画をたてる 追究する力 必要な情報を収集する 【かかわる力】 身近な人々や社会と意欲的にかかわる (業観 ・学習 ート)		
	6					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
3	15	○フォトブック作成に向け，集めた情報を整理・分析し，解等を考える。	・ 会 を行い，グループ との進め方を確認させる。 ・ ICTを活用し，写真等を効果的に確認できるようにする。 ※よりよく伝わるように，相手意識を持って，解説や伝えたいことなどを学習シートにまとめられるよう支援する。	追究する力 情報を整理・分析する 【かかわる力】 他者と協同して活動する (業観 ・学習 ート)		
	本時					
	1					
	17					
	1	○フォトブックの 構成・ 集する。 ・ 構成を考える ・ 集する				
	19					
	20					
	21					
	22					
23	※紙面構成を工夫させるために，配置の移動が容易という特長を持つワープロソフトを使用させる。			追究する力 情報をまとめ表現する (業観 ・学習 ート)		
24						
25						
4	2	○フォトブックを成させる。 ・ び 本 ・ 活動のふり返り	※活動の記録をまとめることで，達成感を味わったり，自分の考えの深まりを認識したりできるようにする。	【生かす力】 活動をふり返り，次の活動に生かす (学習 ート)		
	27					
	2					
	29					
	30					

価 の は，身に けさせたい資質や能力の 目を示す。

【身につけさせたい資質や能力】

見つける力	追究する力	かかわる力	生かす力
課題を見 ける， 課題に気 く。 課題を追究する計 画をたてる。	必要な情報を収集する。 情報を整理・分析する。 情報をまとめ表現する。	身近な人々や 社会と意欲的 にかかわる。 他者と協同し て活動する。	活動をふり 返し，次の 活動に生か す。

6 本時の学習

(1)目標 収集した情報を自分の考えた方 で整理・分析し、フォトブックに入れる解を考える。

(2)展開

過程	学習活動 学習 態	主な発問・指示等	教 の指導 び 価	考
つかむ 5分	1 本時の学習を確認する。ー ・学習のめあてと学習内の確認 ・ストーリーの介	○どのような流れで学習を進めているか確認しよう。 フォトブックに入れる解 を考えよう。 ○グループ とに、今日の活動内 を発表して さい。	○追究活動の流れを図式化して提示することにより、課題意識を持って活動できるようにする。 ○グループ とに、活動内 をホワイト ー に 入し、提示することで課題を させる。	ホ イト ー 追究活動の流れ図
さ る 35分	2 グループ とに活動する。 グループ・人 水中生 グループ ・写真に添える解を考える 水質グループ ・収集した情報を整理・分析する 問題点グループ ・収集した情報を整理・分析する 生活グループ ・写真に添える言葉 を考える 価 B 収集した情報を自分の考えた方 で整理・分析し、解 等を考えている。 業観 ・学習 ート A 収集した情報を自分の考えた方 で整理・分析し、相手意識を持って解 等を考えている。 業観 ・学習 ート	○グループ とに活動しよう。 ○活動の中で てきた疑問は、グループのメンバーや ストーリー ーに 相 しよう。 ○集めた情報を分かりやすく伝えるために学習 ートに整理しよう。 ○整理したら、 にまとめてみよう。	○事前に 会 を開き、活動の進め方について確認しておくことで、グループでの協同活動が主体的に展開できるようにする。 ○活動の中で疑問が てきた時には、グループのメンバーや ストーリー ーに 言を求めるよう伝える。 ○自分たちが収集した写真はPCや大型ディスプレイで再生ができるようにしておく。 ○ 間指導しながら、必要に応じて 言する。 ※よりよく伝わるよう解説や伝えたいこと等を、相手意識を持って、学習シートにまとめさせる。 ※グループの中で、必要に応じてメンバーと相談しながら活動を進めさせることで、自分の考えを深められるようにする。	ン ー タ 大型ディスプレイ 資料 「心豊かに水俣」 学習 ート
げる 5分	3 本時の活動についてまとめ、ふり返りをする。ー ・感想交流 ・自 価 ・次時のめあて	○どんな点に気をつけて、解 等を考えるとよいでしようか。 ○今日の学習をふり返ってみよう。 ○次の時間の活動について確認しよう。	○ 人が感想や気づき等を発表する場を設定し、本時の活動をふり返らせる。 ○学習 ートに自 価を 入させる。 ○グループ とに次時の活動のめあてについて確認させることで、見通しを持った活動が展開できるようにする。	学習 ート